

てまり通信 第103号

2025年7月発行

いよいよ夏本番を迎え、燃えるように暑い日が続きますが、みなさまお褒りなくお過ごしでしょうか。(文 白石由紀子)

最新点訳案内

『福祉タクシー券利用案内』…令和7年度版、福祉タクシーの連絡先を点訳しました。

『ラジオ深夜便』5月号・6月号…NHK ラジオ番組の月刊誌から「アンカーエッセー」を点訳しました。

『らくらくクッキング』…新聞、情報誌からレシピやコラムなどを集めました。5月号では、電子レンジを使ったお手軽おかずや、毎日元気に過ごすため、一日のスタートに必要な朝ごはんの特集レシピを取り上げました。6月号では、昆布と同じうまみ成分が含まれる旬の食材、トマトを使ったレシピや、皮ごとすりおろして作るにんじんゼリー、アラブ料理の「そら豆ごはんヨーグルト添え」などを取り上げました。

『ねこのきもち』…5月号では、猫の命を守る応急処置法やリスクの回避方法を紹介する「猫の命の守り方」や、猫の仕草から読み取る「猫の本音はこうだった!」など、6月号では、猫の健康生活や最新医療に関する「猫の健康と、これからと。」や、「青い目に隠された秘密とは」を取り上げました。

『いぬのきもち』…5月号では、本当に必要なしつけと優先度の低いしつけを区別する「実は! いらぬしつけ」や、「この犬種 だーいすき 日本スピッツ」など、6月号では、犬がにおいをかぐ本能的な行動についての特集を抜粋しました。

『Precious Days』…竹内まりや CD 歌詞カード冊子を、ご依頼により点訳しました。

『蠱蝶の殉情』(和泉桂 著)…ご依頼により点訳しました。

『手打ち』…新聞記事から4月「天声人語」、5月「ひと」を点訳しました。どちらかを同封しています。

てまり日和

6月、7月、私の朝は少し忙しくなります。まずは家のまわりを一回り。少しずつ増やした紫陽花が次々に花を咲かせます。紫陽花は日々品種改良されているので、花びらの形も枚数も実にさまざま。実家からもらったもの、挿し木で増やしたもの、季節終わりに格安で売られていたものなど6種類の花が咲いています。そんな紫陽花群に今年も1株仲間入り。名前は「星あつめ」です。八重咲きの先のとがった花びらがひとつ、またひとつと色づいていく様子は、小さな星々がちりばめられたかのよう。花色がそれぞれ別々のタ

イミングで変化するので、黄緑と水色のグラデーションがなんとも素敵です。うまく根付いて、来年も可憐な花を咲かせてくれますように。

もう一つの活動は「ちょうかつ」です。お腹の調子を整える活動ではありません。アゲハ蝶の繁殖のお手伝いをする活動です。夏も近づくと、庭のみかんの木にアゲハ蝶が卵を産みにやってきます。やがて黒い幼虫が生まれ、そのうち緑色に変化します。幼虫を見つけると一瞬ぎょっとしますが、幼虫を葉っぱごと採取して虫かごで育てたり、飼育を希望する友人たちへとお譲りするのです。葉っぱが足りないと連絡がくれば、追加で葉っぱを差し上げます。

そして幼虫は蛹になり、美しい蝶になって大空へはばたいていきます。幼虫と蝶ではかなり形態が違います。蝶になるまで、蛹の中では一体何が起きているのでしょうか。生命の神秘に触れる機会でもあります。

府中の空を優雅に舞っているアゲハは、ひょっとしたら我が家のみかんの木で育ったアゲハかもしれない、などと思いながら蝶を見守るいつもの夏を過ごしています。

点訳ボランティアてまり 連絡先

てまりメールアドレス temari6ten@yahoo.co.jp

代表 石黒喜美子